

## 【公開文書】

臨床研究「体液 RNA 編集率を指標とした筋萎縮性側索硬化症の新規診断法の開発」について筑波大学附属病院脳神経内科では、標題の臨床研究を実施しております。

本研究の概要は以下のとおりです。

### ① 研究の目的

筋萎縮性側索硬化症 (ALS) は手足が動かなくなる重篤な神経疾患ですが、現在の診断方法は、神経所見、MRI、髄液検査、筋電図検査などをいろいろな検査を行い、診断しているのが現状です。その検査の中には、針筋電図検査など患者様に苦痛を伴う検査もあります。また今後は治療薬の開発と併行して早期治療するために、早期診断ができる診断法の開発が必要となってきます。当科では、ALS において RNA 編集酵素である ADAR2 の発現量低下とそれに伴う RNA の編集異常が起こり運動ニューロン死を起こす知見に注目し、体液中の RNA 編集率を測定することで ALS の新しい診断を開発するために臨床研究を実施します。

### ② 研究対象者

2015 年 4 月 1 日より 2018 年 12 月 31 日までに当院に入院し、髄液検査、採血を行った ALS、多発性硬化症、ギランバレー症候群、慢性炎症性脱髄性多発神経根炎の患者さん

### ③ 研究期間：倫理審査委員会承認後～2020 年 3 月 31 日まで

### ④ 研究の方法

血液、髄液中の RNA を抽出し、編集率を調べます。この RNA 編集率が ALS の方と他の疾患の方と比較し低下しているかを調べます。血液、髄液は検査の際に残った検体を用いるため、改めて採血、髄液検査をすることはありません。

### ⑤ 試料・情報の項目

血液、髄液、検査データ、診療記録。

### ⑥ 試料・情報の第三者への提供について

本研究は当院単独の研究であり、他の施設へ患者様のデータが提供されることはありません。

### ⑦ 試料・情報の管理について責任を有する者

研究責任者 辻 浩史 所属 筑波大学医学医療系神経内科 役職 講師

⑧ 本研究への参加を希望されない場合

患者さんやご家族（ご遺族）が本研究への参加を希望されず、試料・情報の利用又は提供の停止を希望される場合は下記の問い合わせ先へご連絡ください。すでに研究結果が公表されている場合など、ご希望に添えない場合もございます。

⑨ 問い合わせ連絡先

筑波大学附属病院：〒305-8576 茨城県つくば市天久保 2-1-1

所属・担当者名：脳神経内科 担当 辻 浩史

電話・FAX 029-853-3224 対応可能時間 「平日9～17時」)